



京都

労福協

No.61
2018.11

一人は万人のために、万人は一人のために

TOPIC
1

2018年度京都労福協活動者会議 開催

10月25日（木）13時30分からANAクラウンプラザホテル京都に於いて、加盟会員産別・各事業団体・各地区労福協より105名の参加を頂き、2018年度京都労福協活動者会議を開催致しました。

会議では二つの講演を企画し、一つ目の講演では、九州、佐賀県を中心に活動するNPOスチューデント・サポート・フェイスの谷口代表をお招きし、「若者支援活動の“これまで”と“これから”」をテーマにお話を頂きました。

谷口代表からは、どんな境遇の子ども・若者も見捨てない・誰もが希望を抱くことができる地域づくりを目指し、約80人の職員と共に日々活動している内容や、様々な環境のなかで多重に困難を抱え、社会的孤立に至ってい

る若者をアウトリーチ（訪問支援）によって社会復帰まで支援していく、その必要性についてお話を伺いました。

二つ目の講演では、これまで京都労福協は京都府北部の実態を知り、そこにある課題について各自治体と連携を図ることを目的に、それぞれの首長からお話を伺うという取り組みを進めてきました。これまで舞鶴市の多々見市長・与謝野町の山添町長からご講演いただき、少しずつですが成果が出始めています。

今回は、京丹後市から三崎市長をお招きし、「京丹後市の実態と取り組み」をテーマにお話を頂きました。

歯止めが掛からない人口減少・増加する一方の限界集落・伝統産業の衰退等々課題は多く存在しますが、京都府



北部5市2町の広域連携の取り組みや丹後ちりめんの新たな開拓・高速道路の開通に伴う観光などの活性化を大きなチャンスと捉え、「市民が輝き地域が輝く京丹後市」の実現に向けた取り組みについてのお話を伺いました。

これまで、京丹後市の実態や取り組みについては知る機会もなく、今後の私たちの活動に活かしていかなければならぬ貴重な講演でした。

その後の懇親会では、谷口代表・三崎市長も同席いただき、参加者からの質問や意見交換をするなど、懇親も深まり意味ある活動者会議だったと思います。

優勝 モリタ製作所野球部
準優勝 クロイ電機
三位 ジース・ユアサ野球部・
ギャンブラー (JP労組)



目に2回戦・準決勝を行い、3日に決勝戦を行いました。

試合自体も拮抗した試合が多く、無事に第69回勤労者文化祭野球大会を終えました。

来年は、第70回となる記念大会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

TOPIC
2

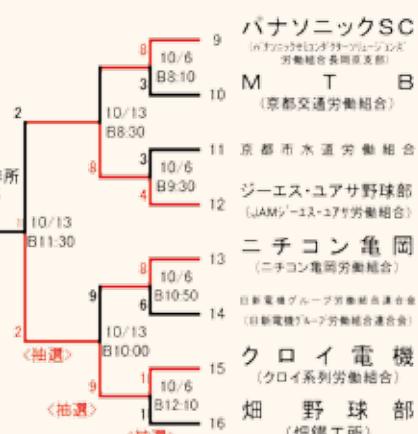
第69回 勤労者文化祭野球大会 開催

10月6日・13日・20日の土曜日3日間で、第69回勤労者文化祭野球大会を殿田グラウンドに於いて開催致しました。

9月12日に主将会議及び抽選会を行

い、今年は棄権チームもなくご応募いただき16チームで、熱戦の日を迎えるました。

初日の午後からは、雨によるグラウンド不良により中止・延期とし、2日



2018年度 京都労福協福祉活動 実施

京都労福協は、事業団体や労働団体と連携し、労福協の社会的役割を果たす活動として、2014年から海外の貧困地域への支援活動をはじめ、2015年以降は東日本大震災の被災地福島県への支援活動を実施してきました。

昨年、支援開始から3年を経、今後の活動のあり方について協議を致しました。その中で、これまでの多くの参加者と労福協役員から「福島県への支援は継続し経過を観るべき」との意見が寄せられ、本年度も4年目となる視察・ボランティア活動を8月4日から3日間、労働団体・事業団体・地区労福協から28名参加の下、実施致しました。

初日は、塩屋崎灯台から四倉港へ向かい、道の駅「よつくら港」の白土駅長さんから震災当時から今日の復興に至るまでの話を伺いました。

この周辺は、津波によって漁村や集落ごと消失するといった壊滅的な被害を受けた地域で、駅長からは「発生当初はあまりにも失ったものが大きかったが、全国各地からの支援が心の支えになったことと、地域住民が目標をもって復興を進めてきたことが大きな力となって今日がある。福島の現状を地域で伝えてください。」とお話がありました。

駅の周辺は綺麗に整備され、地域の方々の復興に掛ける「強い力」を感じました。

福島市内に移動し、京都府から復興支援



京都の生協の連合体が京都府生協連です
食の安全くらしの安心の
実現をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町258番地
コーポ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551

のために相馬港湾建設事務所に派遣されている吉見さんと、福島県職員の大和田さんから震災当時と7年間の復興状況についてお話を伺いました。

報道では、「津波」や「原発事故」のことばかりが伝えられてきたが、内陸部では地震の揺れによって多くの農水用ダムが決壊し、ほぼ満水状態にあった水が土石流となって一気に流れ出し、下流住居地を襲い多くの被害が発生したこと、また、ある小学校で震災の2日前に避難訓練が行われ、若い先生が「屋上に避難で本当に安全なのか」と疑問を呈した。その疑問を受け、話し合い、より安全な裏山への避難に変更し、結果的に2日後の津波では全員の命が助かったことなど、これまで知らなかったことをお聞きすることができました。

二日目は、例年通り「JAふくしま」の選果場で桃の選別・出荷に関わるボランティア活動を実施致しました。

この時期は、桃の出荷の最盛期であり、手を休める暇もなくラインを桃が流れています。暫くすると腰もいたくなり、かなりの重労働ですが人手不足のなか毎日遅くまで作業をしている地元の方々の若干の手助けになったのかなと思います。JAふくしまの責任者の方から「毎年、京都から福島に支援に来ていただき感謝しています。桃などの風評被害は少なくなっていますが、まだ完全に払拭されたとは言えません。関西でも福島の桃の安全性を伝えてください」とお話がありました。関西では福島の農産物に対する風評被害は殆ど無くなっていますが、関東では根強く残っているようです。

最終日、飯館村から浜通りを北上し相馬市に入ります。飯館村はこれまで何度も訪れていましたが、車窓からの視察にとどまっていました。昨年、3月31日避難指示が解

除されましたが、震災前6000人いた村民はまだ800人しか戻っていません。その状況の村内各所を飯館村役場の三瓶係長の案内で見せて頂くことができました。

また、震災当時から今日まで大変な決断と、苦惱があった菅野村長からお話を伺う機会を設けました。村長からは「私たちは、原発事故による避難生活やこれからの村づくりについて毎日その対応に追われてきた。このことから何かを学ばなければならぬ。利便性や快適性を追求し続け、気がつけば日本は世界一過保護な国になっていた。高度経済成長の幻を追うのをやめ、成長から成熟社会へと切り替えて行くことが、次世代への贈り物でなければならない。自分の時代さえ、より便利で豊であればいいという考え方では、子や孫の時代に負担の多い国、危ない世の中をバトンタッチする事になる、先人から引き継いだ素晴らしい自然など、国策として次世代に出来るだけ迷惑を掛けない努力をしなければならない。村の再建への道のりはまだまだ遠いが、せめて3割の村民が帰ってくれば…と思っています。村民に対しては、~自分たちより大変な思いをしている人は他にも沢山いる、私たちにはまだ家がある~と訴えながら村の再建を目指す。」と、静かな口調の中に力強さを感じました。

「相馬の復興は港から」をスローガンに掲げ、相馬港湾建設事務所の方々は、各港の復旧に全力で取り組んでいます。現在、京都府から復興支援として4名の方々が派遣され、ここで従事されています。

案内していただき、請戸港から相馬港まで国道6号線を北上しました。以前は海岸が見えていましたが、現在では、防波堤が延々と続き、殆ど海を覗くことは出来ません。

この防波堤は、千年に一度の津波を想定して建設されていますが、すべての津波を防ぐことは出来ません。人命を第一に考え、少しでも避難する時間を稼ぐために粘り強い防波堤として、7メートルの高さで造ら



れています。海岸線の広大な土地に太陽光発電設備や風力発電が設置され、風景は相当変わりましたが、浜通りの復興は着々と進んでいました。

今、日本各地で大きな自然災害が次々と発生し、7年前の東日本大震災は忘れ去られようとしています。勿論、各災害の被災地・被災者への支援は重要ですが、私たちは未だ苦しんでいる東北被災地の方々を思い、風化する事がないよう現実をしっかりと伝え、4回目となる視察の成果を活動に活かしていかなければならぬと考えています。

参加頂いた皆様と、ご協力頂いた構成組織の方々、そして企画から受入まで大変お世話になりました福島県の皆様に心から感謝申し上げます。

あき恋ツアーハート 開催

京都労福協は、社会貢献活動の一環として、結婚を希望する独身男女に対して出会いの場を提供する婚活支援活動を今年度より開始しました。

記念すべき第1回は、9月22日(土)京丹後市にて開催致しました。

たくさんのご応募をいただき、抽選の結果、男性16名、女性14名の方にご参加いただきました。

当日は、天候が心配でしたが現地に着くと好天に恵まれ、無事にイベントの目玉であるぶどう狩りを「フルーツ王国やさか」にて行いました。ぶどう狩り終了後は「食のみやこ～丹後王国～」に移動し、施設内レストランにて自己紹介、昼食、フリータイム、最後にマッチングを行いました。

主催者として、参加者同士が打ち解けられるのか、会話のきっかけとなるようにプロフィールを作成するなど、対策をとりながら心配をしていましたが、なんと4組がマッチングされました。

今後も、府内各所での開催やイベント内容など皆様に楽しんでいただけるよう企画をし、婚活支援活動を進めていきたいと思います。

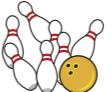
今回、ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました各団体の皆様に心から感謝申し上げます。次回も皆様のご応募をお待ちしております。



丹後地区労福協

第18回丹後地区労福協健康ボウリング大会

8月29日(水)午後6時45分からザビア峰山(京丹後市峰山町)で第18回丹後地区労福協健康ボウリング大会を開催しました。23チーム、69人の参加がありました。女性には1ゲーム10点のハンディをつけ、全員2ゲームを投げていただきました。団体戦では、日進製作所のチームがワン・ツーフィニッシュを果たし、例年通りの強さを見せつけました。個人戦の表彰式も行って、大会は盛り上がるとともに、会員同士の親睦を深めることができました。



大ホールと中小会議室 全15室(14名様～342名)
趣味の会や会議・研修などお気軽にご利用ください。

公益財団法人
京都労働者総合会館 ラボール京都

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前)

西院駅徒歩1分 <http://laborkyoto.jp>

TEL 075-801-5311

☆毎月第1・第3日曜日と12月30日～翌年1月4日は休館日となります。



伏見地区労福協

ファミリーバスツアー

10月20日(土)恒例になりました、ファミリーバスツアーを実施致しました。伏見地区労福協会員組織より34名の方にご参加を頂き、三重県伊勢市にあります、若松屋の下野工場で「伊勢かまぼこ」作りを体験致しました。はじめに、「板かまぼこ」作りは、薄くすり身を延ばしながら練って作業をくり返し、蒸しかまぼこにします。もう一つは「笹かまぼこ」で、串にかまぼこのすり身を1cmの厚みで付け焼いたもので、その場でいただきました。焼きたてのかまぼこは最高です！

その後、移動し鳥羽のてっぴり料理をごちそうになりました。てっぴりとは、伊勢海老がメインでその他に何種類かの貝と野菜を網焼きでいただくものです。お腹もいっぱいになったところで、伊勢神宮内宮・おはらい町・おかげ横丁へと移動し、2時間ほどでしたが各自で楽しんで頂きました。

少しバスでの移動時間が長かったため、皆様お疲れの様子でしたが、最後には「すごく楽しかったです」というお声をたくさんの方から頂き、大変うれしく思いました。ありがとうございました。また次回も、エル・ユニオン京都さんのご協力を頂き、皆様に喜んでいただける企画を準備いたしますので、伏見地区労福協への皆様のご協力をお願いし、今後ともよろしくお願い致します。



働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設
天皇の譲位と新時代 受講受付中！

パソコン・英会話・労働法講座など
ラボール学園

(公益社団法人 京都勤労者学園)
ラボール京都3F 電話 075-801-5925

ラボール学園 フェイスブック ツイッター

京都の生協の連合体が京都府生協連です
食の安全くらしの安心の
実現をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町258番地
コーポ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551

事務機器・
車リース・
旅行のことなら

ル・ユニオントラベル京都
エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会 (ANTA会員)

事務所所在地はラボール京都6階
(京都労福協内)

TEL 075-801-1501
FAX 075-802-4568

きょうとライフサポートセンター
暮らしなんでも相談

相談無料

0120-967-976

京都府外の方、
携帯電話・IP電話の方は
TEL 075-842-5777
FAX 075-842-5778

府内どこから
でも無料！

相談時間 午前10時～12時
午後1時～4時 (平日のみ)

大ホールと中小会議室 全15室(14名様～342名)
趣味の会や会議・研修などお気軽にご利用ください。

公益財団法人
京都労働者総合会館 ラボール京都

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前)

西院駅徒歩1分 <http://laborkyoto.jp>

TEL 075-801-5311

☆毎月第1・第3日曜日と12月30日～翌年1月4日は休館日となります。

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設
天皇の譲位と新時代 受講受付中！

パソコン・英会話・労働法講座など
ラボール学園

(公益社団法人 京都勤労者学園)
ラボール京都3F 電話 075-801-5925

ラボール学園 フェイスブック ツイッター

おかえり。ATM引出し・入金手数料 全額還元

全国の銀行・ゆうちょ銀行・コンビニなどの他行ATMを使ったときにかかる手数料を、即時に全額お返します。(実質無料!) いつでも、何回使っても、全額還元されるサービス「おかえり。」

近畿ろうきんなら、他行で引出しても0円。

引出し手数料還元 の対象となるATM

- 提携先金融機関(都銀・信託銀・地銀・第二地銀・信金・信組・JA)
- ゆうちょ銀行 ●セブン銀行

- 全国のろうきん ●イオン銀行 ●ローソン ●イーネット
- ピューカードは手数料不要のため、還元金はありません。

※お振込手数料については還元対象になりません。

★ローンカードのご利用でも手数料は実質無料

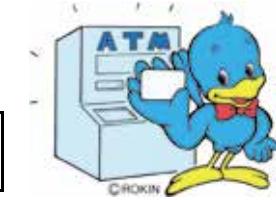
- 対象口座
- 普通預金口座(無利息型含む) ●貯蓄預金口座
 - カードローン口座【マイプラン・笑くば・生き活きカード・ろうきん教育ローン(カード型)・スマートチョイス】

キャッシュカードによるご入金でも、
ローンカードによるご返済でも、
手数料は実質無料!!

ご入金・ご返済は、全国のろうきんはもちろん、以下の金融機関でご利用いただけます。

- ゆうちょ銀行 ●セブン銀行 ●イオン銀行
- 第二地銀 ●信金 ●信組 ●ローソン ●イーネット

※全国のろうきん・ゆうちょ銀行・セブン銀行・イオン銀行・ローソン・イーネットは手数料不要のため、手数料還元はありません。



※第二地銀・信金・信組では、一部お取扱いができない金融機関・店舗がございます
入金可能なATMには、「入金ネット」の表示がされています。



京都地区本部 tel. 075-801-7317

お電話でのお問い合わせは、平日9:00~17:00でお願いします。
(祝日、12月31日~1月3日は除く) 「190131」 513-2018-011

ZENROSAI NEWS



全労済
公式キャラクター
ピットくん

あらゆる暮らしの シーンをしっかりガード。

全労済の住まいの共済

火災共済・自然災害共済

こくみん共済

○総合医療共済

○せいめい共済

マイカー共済

自賠責共済

団体生命共済

交通災害共済

新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済京都推進本部 075-812-7800

(全京都労働者共済生活協同組合) 営業9:00~17:00 土日祝・年末年始休業